「SCS評価制度」の自己採点の勘所【オンラインライブ】（4126286）

2027年4月から「SCS評価制度」が始まります。『当社は、「★3」だけの話なので、そこさえクリアできれば』と安心している情報システム部門の方も見受けられます。本セミナーでは、「アンケート」として自己採点をする際の「質問事項の解釈」を洗い出します。最終的に〇△×を会場の皆さんと一緒に採点し、「難易度が高い質問」に関して対処を検討します。

開催日時	2027年1月12日(火) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	セキュリティ(サイバーセキュリティ)
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点
講師	石橋正彦 氏 （サイバー研究所　　所長 ） 日本ユニシス（現BIPROGY）では中央銀行/都市銀行/信託銀行においてSWIFT決済に従事。ベリングポイント（現PwC)/ガートナーにてリスク管理を担当。フィナンシャルシステムプラン以降、勘定系のネットバンキング業務に従事。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を8年に渡り実施。
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システム部門のインフラ担当、同システム企画担当者、同セキュリティ/リスクマネジメント担当 職務：開発/保守/運用、リスクマネジメント レベル：システムエンジニア初級 初級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	当日は、Excelを利用して評価の判定をブレイクアウト演習して頂きます。 Excelが搭載されています、PCをご準備ください。 Excelファイルは、開催７日前を目途に配布致します。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
当日は、Excelを利用して評価の判定をブレイクアウト演習して頂きます。
Excelが搭載されています、PCをご準備ください。
Excelファイルは、開催７日前を目途に配布致します。

「SCS評価制度」の自己採点の勘所
－アンケート方式で★３を自己採点する際、どうしても甘く評価を付けてしまう情シス担当の方へ

2027年4月から「SCS評価制度」が始まります。
『当社は、「★3」だけの話なので、そこさえクリアできれば』と安心している情報システム部門の方も見受けられます。
本セミナーでは、「アンケート」として自己採点をする際の「質問事項の解釈」を洗い出します。
最終的に〇△×を会場の皆さんと一緒に採点し、「難易度が高い質問」に関して対処を検討します。

◆主な内容

第１部 はじめに
・「SCS評価制度」とは
・従来のISMS(ISO27001)などの認証制度と、どこが異なるのか
・「お助け隊」とは
・「登録セキオペ」とは

第２部 発注企業の定義
・発注企業が、受注側に適切な段階(★)を提示し、示された対策の実施を促すとともに、実施状況を確認することを想定

第３部 受注側の定義
・アンケート方式
・実査方式
・★取得をどのような要件として契約上扱うかは、契約当事者同士で円満に合意されるべきものであり、独占禁止法上及び取適法上適切に本制度を活用

第４部 設問
・ガバナンスの整備
・取引先管理
・リスクの特定
・攻撃等の防御
・攻撃等の検知
・インシデントへの対応
・インシデントからの復旧

第５部 まとめ：評価が低い×だった項目、△だった設問
・ツールで対処するか、手管理で対処するか

第６部 まとめ：従来の実査（金融機関などの委託先監査）をした方の評価が正確
・金融の実査の特徴
・アンケートでの自己申告では、評価にバラつきがでやすいこと
・認証制度を見直してみる「６規格統合運用」など
・発注側から受注側への拘束力
・★４の難易度